

2021年度 日本病理精度保証機構 (JPQAS) オプションサーベイ パラフィンブロックのDNA品質チェック 手順書

本オプションサーベイは、FFPE ブロックから抽出される DNA の品質確認サーベイとなります。本手順書をご一読の上、下記の手順に沿って検体のご準備、送付をお願いいたします。

1. 送付物

- 1) 2.0 mL スクリューキャップマイクロチューブ 1本
- 2) 1.5 mL マイクロチューブ 1本
- 3) チャック付きポリ袋 1枚
- 4) 調査回答用紙
- 5) 本手順書

2. サーベイ実施手順

- 1) **確認**：上記送付物を確認してください。
- 2) **症例選択**：以下の基準に基づき症例 (FFPE ブロック) の選択を行ってください。
 - ① **癌種**：肺癌、なければ乳癌、どちらもなければ大腸癌
 - ② **FFPE ブロック作製日時**：2018年10月～2019年1月の間に手術され、FFPE ブロックが作製された手術材料
 - ③ **大きさ**：腫瘍部を 10 mm×10 mm 以上含むもの

注1：FFPE ブロック作製後、2年半から3年以内のFFPE ブロックを対象とします。薄切後、送付、測定までの期間を考慮し、上記②の日時の中で採取された検体で検討を行いたく、ご協力をお願いいたします。

注2：今回は、FFPE ブロックから抽出される DNA の品質確認のため、マクロダイセクションせず、切片全体での品質確認となります。品質確認には 10 ng/ul 以上の DNA 濃度が必要となります。適切な濃度を満たさなければ、品質の正確な測定ができなくなる可能性がありますので、上記③を参考に FFPE ブロックをご選定ください。

注3：当初、未染標本での提出を予定しておりましたが、未染切片をチューブに入れていただく形と変更いたしましたので、ご注意ください。

- 3) **薄切**：ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程 (日本病理学会) を参照し薄切してください。
 - ① FFPE ブロックから、厚さ 10 μm でロール状に連続切片で 4 枚薄切します。
 - ② 2 種類のチューブに、パラフィンロールをそれぞれ 2 枚ずつ入れます。(チューブには、事前に書かれている番号以外は記載しないでください。)
 - ③ チューブの蓋が開かないように、パラフィルム等でとめます。
 - ④ 検体を入れた 2 本のチューブを、チャック付きポリ袋に入れます。
 - ⑤ 検体をいれたチューブは室温で保管します。

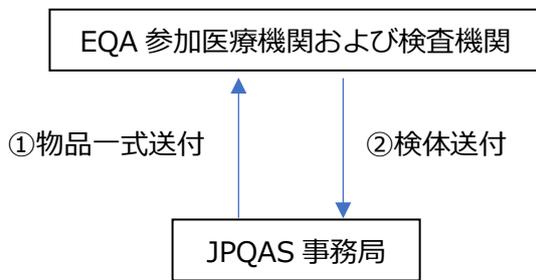
4) **調査回答**：調査回答用紙の調査事項の記入をします。

5) **返送**：【締切】2021年9月17日（金）
薄切後、**1週間以内にJPQAS事務局に送付してください。**

- 薄切切り入りチューブ（2本）
- 調査回答用紙（病理番号を記載していないことをご確認ください）

検体と調査回答用紙は、前期サーベイ標本と一緒にJPQAS事務局に送付してください。やむを得ず前期サーベイ標本と別々に送付する場合には、JPQAS事務局にお問い合わせください。

作業・搬送フロー



以上

問い合わせ先：

○事務的内容に関する問い合わせ先：

NPO 法人日本病理精度保証機構（JPQAS） 事務局

Tel: 03-3496-6950 担当：中本

○技術的な内容に関する問い合わせ先：

北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構

先端診断技術開発センター 生体試料管理室

Tel: 011-706-7933 担当：燕（つばめ）

責任者：畑中